

生活単元学習 学習指導案

日時：令和4年 月 日（ ）

3校時（10:30～11:10）

場所：

対象：小学部4年生 5名

指導者：T1

T2

1. 単元名「〇組おそうじ隊」

2. 児童の実態

小学部〇組は、4年生5名で編成されている。

それぞれの児童の実態については、以下の通りである。

（実態は一部省略）

A 児	（知的障がいの疑い） ・絵を描くことが得意である。表現力が豊かでオリジナルのキャラクターを描くことがある。 ・急な予定の変更が苦手な活動が滞ることがあるが、自らその場を離れて気持ちを切り替えることができる。 ・友だちに対して「大丈夫」等の優しい言葉かけができる。 〔本単元における実態〕 ・使ったものを机の上に置きっぱなしにしたり、机の中に片付けることが苦手であったりするため、はさみやのり等を使いたいときにすぐに取り出せないことがある。 ・整理整頓された机と散らかっている机のイラストを見て、「どちらがきれい？」「どちらが勉強しやすい？」等の質問に対し、整理整頓された机を選ぶことができる。
B 児	（知的障がい） ・教員の指示を理解して行動しようとすることができる。 ・水やりや配布物取りなどの任された係活動に取り組むことができる。 ・後期から腕時計を付け、時間を意識して行動する練習を始めている。 〔本単元における実態〕 ・2年生でほうき、3年生で雑巾を使った掃除の仕方を習得している。 ・整理整頓された机と散らかっている机のイラストを見て、「どちらがきれい？」「どちらが勉強しやすい？」等の質問に対し、整理整頓された机を選ぶことができる。
C 児	（自閉スペクトラム症、ADHD、知的障がい） ・教員からの質問に「はい」と元気よく手を挙げるなど活動に意欲的に取り組むことができる。 ・活動に集中して取り組むことが課題である。周りが気になり活動が滞ることがよくある。

	・手先に不器用さがあり，学習中に「できない」「難しい」と消極的だったり，教員に援助を求めたりすることがある。 [本単元における実態] ・使った道具を元の場所に返すことを忘れることがある。鉛筆を筆箱に入れておくよう教員が言葉かけをすることがよくある。 ・整理整頓された机と散らかっている机のイラストを見て，「どちらがきれい？」「どちらが勉強しやすい？」等の質問に対し，整理整頓された机を選ぶことができる。 ・前期の自立活動の時間に食べこぼしを拭く学習を行い，実際に給食時に食べこぼしを自ら拭く姿も徐々に増えてきている。
D 児	(発達障がい，自閉症) ・乗り物が好きで，絵本やパズルに興味関心が高い。 ・好きな玩具で遊びたい欲求が強く，自ら他教室へ行こうとすることがある。 ・授業においては受動的なことが多いが，スライドや動画を用意することで活動に集中して参加することができる。 [本単元における実態] ・絵の具で汚れた床を雑巾で拭くことが一人でできる。 ・教員の言葉かけを聞いて，紙切れをゴミ箱へ捨てることができる。
E 児	(自閉スペクトラム症，知的障がい) ・遊び場面や課題学習場面において，教員に絵カードで三語文を作って伝えたり，ジェスチャーをして要求を伝えたりすることができる。 ・絵と平仮名单語のスケジュールを確認して，活動することができる。 ・教員からの 2 択の質問に指差しで答えることができる。 [本単元における実態] ・休み時間に使った絵本や玩具を元の場所に返すことができる。 ・整理整頓された机と散らかっている机のイラストを見て，「どちらがきれい？」「どちらが勉強しやすい？」等の質問に対し，整理整頓された机を選ぶことができる。

3.単元設定の理由

(1) 児童観

本学級は，児童の身体面，認知面，コミュニケーション面等において，発達段階が様々な集団である。

休み時間は友だち同士で絵を描いたり，スクーターボードに乗って遊んだりする姿が見られる。新学期当初は一人遊びをすることが多かった児童も友だち同士で遊んでいる中に入ろうとしたり，近くで眺めたりする姿も見られるようになった。

前期の生活単元学習では，「なりきり！おみせやさん」でジュース屋さんやおにぎり屋さんの店員役や客役として，「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」「〇〇ください」と元気よく友だちや教員に伝えたり，注文された商品を友だちに渡したりすることができた。

生活面においては，A 児・B 児・C 児・E 児の 4 名は，自分のスケジュールを理解して自立的に行動できている。前期は学校生活全般において受動的であることが多かった D 児も，教員の言葉かけや身体的支援によって

自ら行動することができる場面が少しずつ見られるようになった。そのため、朝の支度等で時間に余裕ができ始めたり、自分たちでできることが増えていたりしている。そこで、スケジュールや手順表等を手掛かりにしながら、生活面において一人でできることをさらに増やす目的として、身の回りの整理整頓や片付けに取り組んでいきたいと考えている。本学級の児童は、自分が落とした物やごみを放置したり、使った物を元の場所へ返さなかったりするなど、身の回りの環境を整えることに関して課題が見られる。過ごしやすい教室を保つために自分ができること、しなければならないことに気づき、自ら整理整頓や片付け・掃除をすることができるようになってほしい。

本学級は、片付け・掃除の経験が少ない児童（C児・D児・E児）と片付け・掃除のスキルはあるが、必要性に気づいておらず身の回りの環境を整えることが難しい児童（A児・B児）の2つの実態が見られる。本単元では掃除のスキルを学ぶだけではなく、清潔な環境の過ごしやすさに気づく段階に焦点を当てて指導をしていきたいと考えている。後者の児童2名には、①元の場所に返すことで自分も他の人も次回すぐに使うことができること、②定期的に掃除をすることで清潔を保つことできる（＝清潔だとほこりがなく咳が出にくい等）ことの2点に着目し、片付けや掃除の必要性に気づく機会としたい。

また、来年度から高学年、3年後には中学部に上がるため、自分でできることを増やすことに加えて、少しずつ他者のことを考えた行動も増やしていきたい。掃除や片付けをすることは、自分だけではなく他の人が気持ちよく過ごすためにも取り組むことを学習する。みんなで使う場所をきれいにする意識を持って教室以外の掃除に取り組むことで、「誰かのために」という思いや責任を感じる機会としたい。

（2）単元観

特別支援学校学習指導要領において、「生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実践的・総合的に学習するものである。」「（イ）単元は、必要な知識や技能の習得とともに、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等の育成を図るものであり、生活上の望ましい態度や習慣が形成され、身に付けた指導内容が現在や将来の生活に生かされるようにすること」と示されている。また、特別支援学校学習指導要領（各教科編）の第4章の第7の2では、「個々の児童の実態に即して、教科別の指導を行うほか、必要に応じて各教科、道徳科、外国語活動、特別活動及び自立活動を合わせて指導を行うなど、効果的な指導方法を工夫するものとする。その際、各教科等において育成を目指す資質・能力を明らかにし、各教科等の内容間の関連を十分図るよう配慮するものとする。」と示されている。

本単元では、ほうきやフローリングワイパー、粘着クリーナー等の掃除道具を使用し、掃除の仕方を習得することに加えて、掃除の必要性や掃除の目的についても学習する。その方法として、掃除や片付けをテーマにした絵本（『バムとケロのにちようび』）を読む。この絵本は、主人公が玩具等で散らかった部屋や泥だらけの廊下を掃除し、片付いた部屋で楽しくくつろぐ様子が描かれている。汚れていたり散らかっていたりする部屋、掃除をしてきれいになった部屋で過ごす主人公の気持ちを想像することで掃除の重要性や整った環境での過ごしやすさに気づく機会にしたい。また、主人公が一人で片付け・掃除するシーンを取り上げ、「〇組おそうじ隊」として自分たちが登場し、片付け・掃除の手伝いをするというオリジナルストーリーの紙芝居を作る。興味関心のある絵本を読むだけで終わらず、自分たちが登場し主人公を手伝うシーンを新たに制作することで、普段から興味関心のある絵本の中に自分たちが登場する楽しさを味わい、そして「主人公のために頑張る」という意識を持つ姿に期待したい。これまでの図画工作等での作品作りでは、各児童がそれぞれ自分の作品を作り完成させる学習を行ってきた。そこで、今回は作業を分担してみんなで一つの紙芝居を作る。児童同士の関わりが増えつつある今、一人一人が自分の役割を果たしたり、他の児童の作業に協力したりする経験を

してほしい。また、完成した紙芝居は朗読も行い、動画撮影したものを小学部の朝会で披露予定である。先日、他学級の児童らが動画を制作し、朝会で発表する機会があった。その動画を見た児童らから「〇組も何か発表したい!」という発言があり、この紙芝居を披露することにした。動画発表が制作時のモチベーションに繋がり、意欲的に活動に参加する姿に期待したい。児童らは紙芝居を見る経験はあるが、自分たちが披露するという経験は今回が初めてとなる。そこで、徳島県内で活動している紙芝居団体「おしゃべりくまさん」の来校による紙芝居を鑑賞する機会を設定する。そして、鑑賞後は団員の方から紙芝居の楽しさや朗読のコツ、注意点について学ぶ機会を設ける。

学級で制作する絵本の中で「〇組おそうじ隊」として自分たちが登場し、片付け・掃除の手伝いをして活躍したように、実際の掃除場面においても自ら取り組もうとする姿を目指す。まず、「〇組おそうじ隊」として活動するための練習で教室掃除をする。教室掃除を通して掃除道具の正しい使い方や清潔を保つ大切さ等について学習する。次に「〇組おそうじ隊」として廊下やホール等の自分たち以外の児童や教員も使用しているスペースの掃除をする。また、週末の宿題として、自宅の片付け・掃除にもチャレンジする。「〇組おそうじ隊」として活動するときは、衣装としてバンダナやワッペンを付けたり、掃除を始める前に『おそうじルンルン』を踊ったりして児童らの意欲を引き出す。片付け・掃除をして環境を整えることは、自分たちだけでなく周りの人たちの役にも立つことを実感し、自ら進んで活動に参加する姿や担当箇所を掃除する責任感を育む機会としたい。

(3) 指導観

指導にあたっては、導入部分での活動の説明時に写真やイラストを中心としたスライドを用いる。本学級では、新しい活動に取り組む際にはスライドで説明をすることが多い。視覚的に伝えることで理解を深める目的に加え、集中が難しい児童が注目して説明を聞くことができるツールとして有効である。

掃除に関する指導では、清掃前と清掃後の状態を比較することで振り返りをする。本単元のはじめに自分の道具箱の整理をし、身の回りを清潔に保つよう心掛けている。具体的な流れとしては、まず iPad で道具箱の写真を撮り、散らかり具合や不必要なものが入っていないか等を確認する。整理したあともう一度写真を撮り、使いやすい状態になったか確認し、友だちに写真を見せながら発表する。開始当初は、色鉛筆が道具箱の中で散らばっていたり、教員に借りていた筆記用具を返さず入れっぱなしにしていたり、紙くず等のごみが入っていたりしていたが、繰り返していくうちに整理がされた状態を保つことができ始めている。本時では、床掃除の際にシュレッダーの紙くずを床に撒き、ほうきで集めることで清掃前と清掃後の状態を比較する。また、ごみをたくさん集めることができたという実感を味わうことができるように、空のごみ箱に集めたごみを捨てるようにする。粘着クリーナーを使用する児童には、「マットにたくさんごみが隠れていたね」等の言葉かけをすることで汚れが取れていることに気づくよう促す。

また、本単元から教室掃除の時間を設け、教室の掃き掃除と遊びコーナーのマットのほこり取りをしている。床やマットにビニールテープを貼って目印を付けることで、ごみを集める場所や掃除道具を動かす方向が分かるようになりスムーズに掃除ができるようになってきた。児童の中には、ほうきでごみを集め終わると、教員が促す前にちりとりが必要だと気づき自ら用意する姿も見られた。

そして、教室掃除の学習を発展させて、おそうじ隊として教室前の廊下（遊びコーナーを含む）とホール、玄関の掃除にも取り組んでいる。本時ではホールの掃除を行う。ホールは朝のランニングや遊び時間等で毎日使用しており、児童らの活動場所である。自分たちだけでなく、他学級の児童や教員も使用する場所として責任を持って取り組む姿を目指したい。また、掃除は分担制のため自分の担当場所に必要な掃除道具をそれぞれ選ぶよう促す。教室掃除で学んだ掃除道具の用途や使用方法を確認し、自ら適切な掃除道具を選んでほしい。

A 児は片付け・掃除に苦手意識がある。片付けが思ったようにできなかったり、教員の言葉かけを受け入れることができなかったりすることで活動が滞ることが見られる。本児は自らその場を離れて気持ちを切り替えることができるため、ホール内に段ボールで仕切った空間を用意したり、掃除場所を一時的に変えたりする工夫で苦手意識がある中でも安心して活動に取り組み、達成感を味わう機会としたい。

また、自発的な行動を起こしにくい D 児には、掃除道具や場所に好きなキャラクターを貼ることで興味を持ち、得意な雑巾がけを活かした掃除に取り組むことで教員と一緒に活動に参加できるようにしたい。

4. 単元の目標

(①「知識及び技能」②「思考力、判断力、表現力等」③「学びに向かう力、人間性等」)

○自分が担当する掃除場所に必要な掃除道具を用意することができる。①

○自分が取り組んだ掃除の内容（掃除道具や場所等）や清掃前と清掃後の変化について発表したり、友だちの発表に注目したりすることができる。②

○紙芝居作りを通して、掃除場面での登場人物の活躍に気づき、実際の場面での片付けや掃除に主体的に取り組むことができる。③

5. 指導計画（全 15 時間：本時 14/15）

主な学習活動・内容	時間	関連する教科の内容
おそうじ紙芝居をつくろう ・『バムとケロのにちようび』を読み、「○組おそうじ隊」を登場人物に加えた紙芝居を作る。 ・紙芝居団体「おしゃべりくまさん」の紙芝居を観劇し、紙芝居に触れたり、朗読を体験したりする。 ・完成した紙芝居を撮影する。朗読も行う。 ・完成した動画を小学部の朝会で披露する。	5	国:1 段階-C-(ア) (エ) 国:2 段階-C-(ア) 図:2 段階-A-ア-(イ) 図:3 段階-A-ア-(イ)
教室の掃除をしよう ・お道具箱の整理 ・各掃除道具（ほうき・ちりとり・粘着クリーナー・フローリングワイパー・ふきん）の使い方を学び、習得する。 ＊掃除を始める前に『おそうじルンルン』を踊る。 ＊掃除の前後での変化に気づき、発表する。	5	生:1 段階-キ-(ア) 生:2 段階-キ-(ア) (イ) 国:2 段階-A-(ウ)
学校やお家の掃除をしよう（○組おそうじ隊） ・教室前廊下・遊びコーナー・ホール・玄関 ＊掃除を始める前に『おそうじルンルン』を踊る。 ＊掃除の前後での変化に気づき、発表する。	5 (本時 4 /5)	生:1 段階-キ-(ア) 生:2 段階-キ-(ア) (イ) 国:2 段階-A-(ウ)

6. 本時の目標

(①「知識及び技能」②「思考力、判断力、表現力等」③「学びに向かう力、人間性等」)

児童	個別の学習目標
A 児	・担当箇所に必要な掃除道具を用意し、正しく使うことができる。【生:3-キ-(イ)】① ・掃除の仕方や清掃後の変化について発表することができる。【国:2-A-(ウ)】② ・担当箇所を掃除することができる。【生:2-キ-(ア)】③
B 児	・担当箇所に必要な掃除道具を用意し、正しく使うことができる。【生:3-キ-(イ)】① ・掃除の仕方や清掃後の変化について発表することができる。【国:2-A-(ウ)】② ・担当箇所を掃除することができる。【生:2-キ-(ア)】③
C 児	・担当箇所に必要な掃除道具を用意し、正しく使うことができる。【生:2-キ-(イ)】① ・「どこに」「汚れやゴミがあったか」「どんな道具を使った」等の教員からの質問に答えることができる。【国:2-A-(ウ)】② ・教員と一緒に担当箇所の掃除をすることができる。【生:1-キ-(ア)】③
D 児	・教員と一緒に必要な掃除道具を選び、正しく使うことができる。【生:1-キ-(イ)】① ・友だちの発表や自分や友だちが掃除をする写真に注目することができる。【国:1-A-(イ)】② ・教員と一緒に担当箇所の掃除をすることができる。【生:1-キ-(ア)】③
E 児	・2種類の掃除道具から担当箇所に必要なものを選び、正しく使うことができる。【生:1-キ-(イ)】① ・「掃除場所」「使った掃除道具」の答えをそれぞれ3択の中から選んで答えることができる。【国:2-A-(イ)】② ・教員と一緒に担当箇所の掃除をすることができる。【生:1-キ-(ア)】③

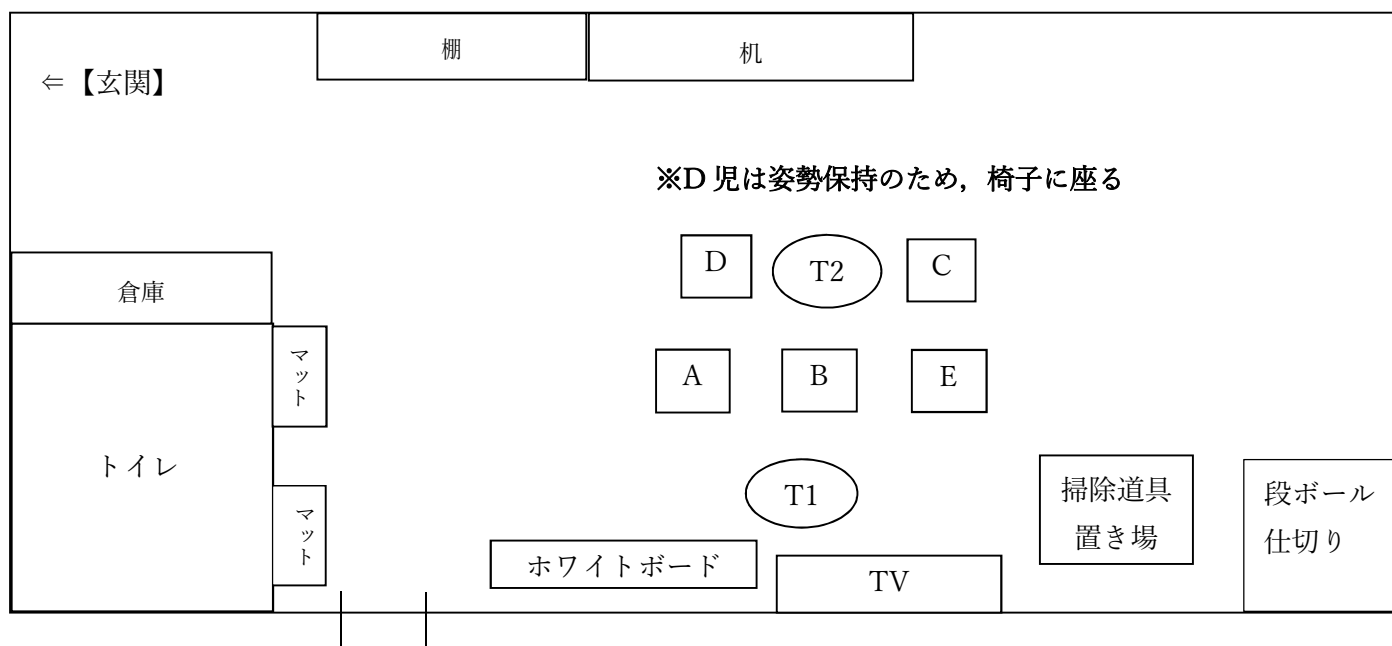
7. 準備物及び環境設置図

〈準備物〉

ほうき・ちりとり・粘着クリーナー・フローリングワイパー・モップ・ふきん・ホワイトボード・ホワイトボードイレーザ・iPad（各児童・教員用）・テレビ・役割分担表・「よくできました」カード・おそうじステッキ・エプロン・バンダナ・ワッペン

〈環境設定図〉

【ホール】



【バンダナの色】

A 児…緑
B 児…赤
C 児…青
D 児…ピンク
E 児…黄

【必要な掃除道具】

A 児…ほうき・ちりとり・ふきん
B 児…ほうき・粘着クリーナー
C 児…ほうき・フローリングワイパー
D 児…ホワイトボードイレーザー・モップ
E 児…ミニほうき・ミニちりとり・フローリングワイパー

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点		学習活動における 具体的評価規準	評価 方法
		T1	T2		
1	1. 始まりのあいさつをする。	・全体が静かになったタイミングであいさつ当番の児童に号令をかけるよう促す。	・児童の実態に応じて姿勢を正すように促す。	・姿勢を正すことができる。 (全員) ・教員に注目することができる。(A・B・C・E)	観察
10	2. ①前回の振り返りをする。 ・紙芝居の動画を見る。 ・これまでの掃除の様子を写真や動画で振り返る。 ②本時の活動内容を知る。 ・ホールの掃除の仕方や担当箇所の確認をする。 ③『おそうじルンルン』を踊る。	・本時の流れをスライドに提示する。 ・紙芝居を見たあと、紙芝居作りで頑張ったことや難しかったことを児童に質問する。 ・写真や動画の中で児童が頑張っている様子を具体的に説明して称賛する。 ・役割分担表をホワイトボードに提示する。一人ずつ担当箇所を読み上げる。 ・おそうじステッキを配る。	・ホワイトボードやテレビに注目するように促す。(D) ・D 児の iPad で、同じ画面を提示し、注目しやすいようにする。(D)	・前を向いて話を聞くことができる。(A, B, C, E) ・テレビや iPad に注目することができる (D) ・教員からの質問に答えることができる。(A・B・C・E)	観察
3	3. 活動の準備をする。 ・活動に必要な掃除道具を取りに行く。	・必要な掃除道具を掃除道具置き場に取りに行くよう促す。(A・B・C) ・必要な掃除道具と一緒に確認し、掃除道具置き場に取りに行くよう促す。(E) ・掃除の仕方を確認する。忘れている場合は再度説明する。(E) ・分からないことや困ったことがある場合は、近くの教員に声をかけるよう伝える。(C)	・掃除道具置き場まで一緒に移動し、必要な掃除道具を取るよう促す。(D) ・ホワイトボードまで移動するよう促す。(D)	・必要な掃除用具を自ら取りに行くことができる。(A・B・C) ・教員と一緒に必要な掃除道具を取りに行くことができる。(D) ・2 種類の掃除道具から必要なものを選ぶことができる。(E)	観察
15	4. ホールの掃除をする。 【A・B・C・E 児】 ① ミニコーンで囲った範囲の紙くずをほうきで集める。	・タイマーを 15 分にセットする。(終了 5 分前と 1 分前を児童に知らせる。) ・ちりとりを置いてある位置に紙くずを集めるよう言葉かけをする。(A・B・C・E)	・ホワイトボードイレーザーを持って、ホワイトボードに書いた文字を消したり、マグネットを片付けたりするよう促す。(D)	・担当箇所の掃除に 10 分以上取り組むことができる。 (全員※C・D・E は教員と一緒に)	観察

	② ミニコーンをホール中央部に移動する。 ③ ミニコーンで囲った範囲の紙くずをほうきで集める。 ④ ミニコーンをトイレ側に移動する。 ⑤ ミニコーンで囲った範囲の紙くずをほうきで集める。 ⑥ 各自担当箇所の掃除をする。 A 児…机拭き・体育用具の消毒 B 児…マット掃除（3 枚） C・E 児…床掃除（フローリングワイパー） 【D 児】 ① ホワイトボード ② モップで床を拭く。	・紙くずが残っている場合は、言葉かけや指差し等で伝えてほうきで集めるよう促す。（A・B・C・E） ・紙くずをすべて集めることができたなら、4人でミニコーンを移動するよう促す。（A・B・C・E） ・粘着クリーナーのシートを剥がすことが難しい場合は、支援する。（B） ・掃除の様子を iPad で撮影する。（全員） ・掃除が終わったら、掃除道具を掃除道具置き場に戻すよう促す。（A・B・C・E）	・ホワイトボードの掃除が終わったら、モップを持って床掃除をするよう促す。（D） ・掃除が終わったら、一緒に掃除道具置き場へ移動し、掃除道具を戻すよう促す。（D）	・各掃除道具の用途を理解し、正しく使うことができる。（A・B・C・E） ・教員と一緒に掃除道具を正しく使うことができる。（D）	
10	5. 振り返りをする。	・振り返りの流れを説明する。 ・撮影した写真や動画を見ながら、今日の掃除の様子を振り返る。 ・担当箇所や掃除の仕方について一人ずつ発表する。	・ホワイトボードやテレビに注目するよう促す。（D）	・言葉や指差し等で掃除の様子を発表することができる。（A・B・C・E） ・清掃前と清掃後の変化について発表することができる。（A・B） ・写真や動画、友だちの発表に注目することができる。（D）	観察 発表
1	6. 終わりのあいさつをする。	・全体が静かになったタイミングであいさつ当番の児童に号令をかけるよう促す。	・児童の実態に応じて姿勢を正すように促す。	・姿勢を正すことができる。（全員） ・教員に注目することができる。（A・B・C・E）	観察

